

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年6月2日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.120】

JR総連・東労組は鳩山内閣の政府答弁書に対する見解を示せ！

前号では、国会で取り上げられたJR総連・東労組への革マル派浸透問題の経過を紹介したが、彼らは「JR総連及びJR東労組内には、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透している」とする政府見解を一貫して否定している。本情報「No.39」で紹介したが、松崎氏は2009年1月26日の「週刊現代裁判」で以下の通り証言している。

(被告代理人)政府は -(中略)- JR総連及びJR東労組内において、「影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透していると見られるところである」と、こういう答弁をしています。こういう答弁があること自体はご存知だと思いますけれども、まずこの答弁の内容については、誤りだと認識しているということでしょうか。 (松崎)事実関係は全く間違っていると思います。(代理人)総連はともかくJR東労組の中に、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透しているということは、2006年現在ではないということですか。(松崎)警察の発表ですから、そのようなことは信用していません。(代理人)警察発表じゃなくて、政府が閣議に掛けて答えている答弁書ですけども、いずれにしてもとにかくこれは間違いだということですか。(松崎)そうです。(代理人)信用していないという考え方の問題なんですか、それとも事実としていないということですか。(松崎)それは事実としていないんですから、いない者をいる、という者を信用するわけにはいきらないでしょう。(代理人)どうしていないということが分かるんですか。(松崎)いないからいないんですよ。

また、JR総連の前委員長である小田裕司氏は2009年2月17日の「週刊現代裁判」で以下の通り証言している。

(被告代理人)JR総連やJR東労組の中で影響力を用いる地位に革マル派の労働者が就いていると、そういった趣旨のことを警察庁の警備局長等が国会の中で何回も答弁していると、そういうことは御存じですね。(小田)はい。(代理人)同様の趣旨を政府が国会議員からの質問に対する答弁書の中で答えているということも御存じですね。(小田)はい。(代理人)JRの中に、革マル派の労働者の組織である、マングローブと呼ばれるものが存在するということを警備局長、あるいは政府答弁書が答えているということも御存じですね。(小田)はい、承知といたしますが、言われていることについては知っております。(代理人)政府答弁は閣議にかけて出されるものだということも、当然御存じですよ。(小田)はい。(代理人)そうすると、JR総連やJR東労組に革マル派が影響を及ぼしているんだということは、政府の公式見解となっているというふうに理解していますか。(小田)いえ、理解してません。(代理人)正しいか、正しくないかということと別に、日本政府がそのような立場をとっているんだというふうには御理解になっていますか。(小田)それは承知をしています。

JR総連・東労組への革マル派浸透は政府の厳然たる公式見解だ！

JR総連・東労組がいくら革マル派の浸透を否定しようとも、閣議決定された「JR総連及びJR東労組内には、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透している」との答弁内容は、日本政府の厳然たる公式見解だ。JR総連・東労組は、民主党政権の公式見解を認めるのか、認めないのか、これに対する見解を示さなければならない。

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>